

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要				事業開始年度 S46~	
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施策	01	子育て支援	
事務事業名				07	児童遊園地管理事業
				問合先	担当課(室) 民生部こども課
				職・氏名	こども福祉係長 藤田 政宣
				電話	0869-64-1825

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	地域の児童及び保護者
目的(何のために)	次世代を担う児童が地域で安全にのびのびと遊べる場を提供する。
行政活動(どのような方法で)	児童が安全に遊べる遊具等を点検し、随時修理する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	事故の未然防止に努め、安全安心な遊びの場とする。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	遊園地数	ヶ所	32	32	32
	修理件数	ヶ所	9	16	8

実費	事業費	千円	2,144	4,394	2,645
	必要人員	人	0.31人	0.08人	0.08人
	必要人員	人	2,388	634	641
	事業費計		4,532	5,028	3,286
	事業費				
結果	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
	金	千円			
受					
益					
者					
負					
担					
比					
率					

結果指標①	遊園地数	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	遊園地数	ヶ所	32	32	32
	結果指標量	ヶ所	32	32	32
	対前年比	%	103.2%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	3,369,125	1,557,207	1,683,248
結果指標②	修理件数	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	修理件数	ヶ所	9	16	8
	結果指標量	ヶ所	9	16	8
	対前年比	%	180.0%	177.8%	50.0%
	活動コスト	円	1,162,697	3,471,248	1,603,212
活動コスト	円	129,189	216,953	200,402	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
児童遊園地で発生した事故件数	目標値(A)	0	0	0	事故件数 0件
	実績値(B)	0	0	0	到達目標年度
	達成率(B/A)	到達	到達	到達	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
修理等の管理不備による事故をなくする。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		C
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	児童遊園地の設置については、充足していると考えられる。	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E>	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識	
		維持管理については、安全性の面から市が関与するが、地元住民の参加による地域組織活動を促進していく必要がある。		

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	児童遊園地数	32ヶ所	結果指標量②	修理件数	10件
					成果指標量	事故件数
						0件
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				廃止・完了
説明	法的拘束力はないが遊具の耐用年数表示をする動きがある。事故が発生した場合の責任の所在が明確になるため、より適正な管理を必要とする。					

総合評価		評価区分<A~E>	C
児童遊園地の施設数は充足していると考えられる。施設が老朽化してくるから、緊急性や安全性を重視し事業を進める。ただし、利用者数や、地域要望を考慮しながら遊具等の撤廃も考える必要があると考える。			

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				廃止・完了
説明	法的拘束力はないが遊具の耐用年数表示をする動きがある。事故が発生した場合の責任の所在が明確になるため、より適正な管理を必要とする。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	維持管理については、更なる地域管理を促進していく。	毎年	地域住民が管理に関わることで、地域ぐるみの利用促進が図れる。		
有効性	各地区の実情を踏まえつつ、遊具等の撤廃を含めた見直しにより施設整備を図る。	毎年	子どもたちが安心して遊べるよう質的整備が促進される。			